

第111号 2024年8月2日

発行日：2024年8月2日

アステラスメールマガジンです。

今回は、8月1日に発表した2024年度第1四半期決算概況、欧州におけるゾルベツキシマブおよびPADCEVに関する販売承認勧告の採択などの最近のニュースについてお知らせします。

当第1四半期は、期初に公表した2024年度の通期予想の達成に向けて堅調なスタートを切ることができました。XTANDIが売上収益の拡大に貢献したほか、今後の成長を支える重点戦略製品の売上は全体で750億円まで拡大し、前年同期から約3倍増の約プラス500億円と力強く成長しました。その結果、売上収益およびコア営業利益は、為替の影響を除いても前年同期比で増収増益となりました。フルベースの営業利益は、IZERVAYの無形資産償却費のほか、その他の費用として主に為替レートの変動によるゾルベツキシマブの条件付対価に関わる公正価値変動額を計上したものの、前年同期比で増加しました。決算短信や決算説明会資料などを当社ウェブサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。

IRミニトピックス

《IR関連情報》

■「IRライブラリー」を更新しました

8月1日発表 2024年度第1四半期決算関連資料を掲載しています。

<https://www.astellas.com/jp/investors/ir-library/business-results>

8月1日開催 2024年度第1四半期決算説明会の模様をご覧ください。

<https://www.irwebcasting.com/20240801/6/index.html>

■7月22日 アステラス製薬と大阪大学大学院医学系研究科 多能性幹細胞由来の軟骨細胞医療プログラムの創出に向けた共同研究契約を締結

大阪大学大学院医学系研究科との間で、共同研究契約を締結しました。軟骨疾患研究の第一人者である妻木 範行教授が確立した軟骨組織の作製プロトコルと、アステラスのユニバーサルドナー細胞技術（遺伝子編集技術により白血球型抗原を遺伝子改変し、免疫拒絶反応を抑えた多能性幹細胞*1を作製できる技術）および細胞医療に関する卓越した研究開発の専門性を融合し、椎間板変性症*2に対する革新的な軟骨細胞医療プログラムの創出を目指します。

<https://www.astellas.com/jp/news/29321>

*1 多能性幹細胞：ほぼ無限に増殖する能力と、個体を構成するあらゆる細胞に分化する能力を併せ持つ細胞。例：胚性幹細胞（ES細胞）、人工多能性幹細胞（iPS細胞）。

*2 椎間板変性症：脊椎の変性疾患の一つ。軟骨性組織である椎間板が変性することで水分が失われ、その機能が破綻して腰痛を引き起こす。

■7月29日 ゾルベツキシマブ 欧州CHMPが販売承認勧告を採択

Claudin18.2陽性、HER2陰性の切除不能な局所進行性または転移性胃腺がんおよび食道胃接合部腺がんの治療薬として開発中のゾルベツキシマブについて、欧州医薬品庁の欧州医薬品委員会（CHMP）が、7月26日（現地時間）に販売承認勧告を採択しました。今後、欧州委員会（EC）で承認された場合、ゾルベツキシマブは、欧州でファーストインクラスの抗CLDN18.2モノクローナル抗体となる可能性があります。

<https://www.astellas.com/jp/news/29326>

■7月29日 抗体-薬物複合体PADCEV™（エンホルツマブ ベドチン）進行性尿路上皮がん患者の一次治療を対象としたペムブロリズマブとの併用療法について欧州CHMPが販売承認勧告を採択

Pfizerと共同で開発を進めている抗体-薬物複合体PADCEV™とMerckのPD-1阻害剤KEYTRUDA®との併用療法について、欧州医薬品庁のCHMPが、7月26日（現地時間）に、白金製剤適応の切除不能または転移性の尿路上皮がん患者における一次治療の適応追加に関して販売承認勧告を採択しました。今後、ECで承認された場合、この併用療法は、切除不能または転移性の尿路上皮がん患者の一次治

療における標準治療である、白金製剤を含む化学療法に代わる最初の治療選択肢となる可能性があります。

<https://www.astellas.com/jp/news/29331>

120文字のアステラス

まだないくすり創りに挑むアステラスの、くすりにまつわるいろいろなお話。

頂きを目指せ

未知の山に、

道をつくりながら登る。

その山の頂きに新薬という

宝が埋まっている約束はどこにもない。

それでも、頂きを目指す。

そこに、目指すくすりがあると信じて。

それが、まだないくすりへ

ただひとつの道と信じて。

明日は変えられる。

アステラス製薬



IR担当者のひとことボイス

連日パリオリンピックでは熱戦が繰り広げられています。観戦で寝不足に陥った方も多いのではないのでしょうか。私もその一人です。世界最高の舞台での真剣勝負そのものに加えて、選手がその舞台に立つまでのストーリーにも心を打たれるものがあります。今日8月2日は金銀の日、1928年のアムステルダム大会で織田幹雄選手が日本人初の金メダル、人見絹枝選手が日本人女性初の銀メダルを獲得したことから制定された記念日です。選手の活躍を願って、今夜もテレビ観戦で声援を送りたいと思います。

みなさまの声をお聞かせください

メールマガジン読者の皆さまにご意見やご感想をお伺いするためのアンケートを実施しております。皆さまからお寄せいただいた貴重なご意見やご感想を今後のよりよいメールマガジン作成の参考とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

アンケートは[こちら](#)

アステラスメールマガジン No.111 (2024/8/2)

◆配信停止は[こちら](#)

◆発信元 アステラス製薬株式会社（編集：広報 IR）

© Astellas Pharma Inc.

[Cookieの設定を変更する](#)

[製薬協](#) | [ひろがれ、未来。](#) | [製薬協 - くすり研究所 -](#) | [電子公告](#)